

市民対話ワークショップ 北部エリア 「わくわくする“みんなの学校”を考えよう！」



令和8年7月26日（日）、市立中央公民館にて、公共施設再配置計画の策定に向けた、小・中学生や地域住民が参加する市民対話ワークショップを実施しました。現在、再配置計画の検討において、学校に周辺の公共施設を集約し、地域の拠点「みんなの学校」の整備を目指しています。このワークショップでは、「みんなの学校」という場所でどのような活動や交流ができれば、子どもから大人までが「ワクワク」できるかを、参加者同士で話し合いました。

午前と午後で、南部エリアと北部エリアに分けて実施しました。北部エリアは午後2時半から4時半までで、住民の皆さん8名をはじめ、芝浦工業大学志村研究室の学生や市職員など運営スタッフを含む計25名が参加しました。

1 プログラム・グループワークの内容

今回は、2つのグループワークを行いました。まず「地域の特徴、強みと弱みを確認しよう！」では、各グループにいる芝浦工業大学の学生が、実際にまちを歩いたり調べたりして把握して、地域の強みや弱みを発表したあと、地図上にエリアの良いところ・魅力や逆に足りないところや困っていることなどを書きだしました。次に、『みんなの学校』について、どんな施設や機能があるといいか、どんな交流が生まれるといいか考えました。そこで行いたい活動や交流、それをくだれとやってみたいか、人物カードを貼り付け、どんな場所になったらいいか話し合いました。

1. あいさつ・自己紹介

- ・主催者及びファシリテーターの挨拶
- ・参加者の自己紹介
- ・ワークショップの主旨説明

2. グループワーク

【グループワーク①】

- ・地域社会の特徴、交流・活動、強みと弱みを確認しよう！

【グループワーク②】

- ・「みんなの学校」にどんな施設・機能があると良いか、どんな交流が生まれると良いか

3. 発表・意見交換

- ・グループごとに発表

4. まとめ

- ・ファシリテーターによるまとめ



芝浦工業大学の学生が
ファシリテーターをしてくれました！



～ ファシリテーターご紹介 ～



志村 秀明教授
1968年東京都生まれ
芝浦工業大学
建築学部建築学科教授
博士（工学）、一級建築士
専門分野：まちづくり、市民参加、都市計画

2 公共施設再配置計画「みんなの学校」について

和地市長からのご挨拶等につき、公共施設再編課から、公共施設再配置における「みんなの学校」がどんなところか、そして今回のワークショップの内容について説明しました。

再配置を進めるにあたり、参加者のご意見、アイデアを参考に、どんな活動や交流ができるか、エリアの特性に応じた「みんなの学校」のあり方を考えていきたいと思います。

『みんなの学校』は…

- 学校と公民館などが一緒になったところ（魅力アップ）
- 学校が地域のみんなの場所になる
- 子どもたちが安全に勉強と遊びができるところ
- 子どもと地域の大人が交流できるところ
- 災害が起こった時には避難所にもなり、学校の授業も受けられるところ

グループワーク①

グループワーク②

		強み	弱み	部屋名	やりたいこと
Aグループ		・ 集会所で地域の高齢者が活動をしている ・ 上北台駅近くには、大きなスーパーがあり、買い物等に便利 ・ 散歩しやすい、桜が綺麗 ・ 自然が多くて楽しい ・ 自由民権運動の千葉卓三郎が活躍 ・ 狭山茶がある	・ 児童館がない ・ 公園が少ない ・ 図書館がない ・ 地域の公共施設をあまり知らない ・ カフェが少ない ・ 高齢化が進んでいる ・ 道が狭い ・ 商店街がさびれてきている	体育館	・ 雨の日に遊べるように ・ ニュースポーツ
				図書館	・ デジタル社会に対応できる図書室 ・ 一般の方も使用できる図書館 ・ 自習できる環境がほしい（日常的に使える）
				家庭科室	・ 男性向けの料理教室や専門家の人が料理を教える場 ・ お年寄りも気軽に集まれる茶室、お茶しながら育児相談 ・ 料理が出来る実習室
				音楽室	・ 防音装置完備、お祭り（太鼓）の練習 ・ 音楽ホール、合唱コンクール
Bグループ		・ お祭りが楽しみ ・ プラネタリウムがある ・ 多摩湖がある ・ 神社が多い ・ 自然が豊かな環境	・ 坂道が多い、道路が狭い ・ バスが走ってない ・ 施設が古い ・ 湖畔坂、坂が狭くて危ない（勾配もある） ・ Caféがない、買物が出来ない	多目的室	・ お年寄りが気楽に集まれ、何か楽しめる場所が欲しい ・ 子供達とも交流できる場があると良い ・ 障害を持った人（知的・身体等）達といろいろな人々の交流を図る
				校庭	・ 畑のある学校 ・ 学校が終わった後でも、遊べる校庭、木陰のある校庭 ・ 地域の人交流できる夏まつりも楽しめるような校庭と設備 ・ 校庭にキッチンカー、お昼も食事できる
				その他	・ 自習が出来る教室 ・ 動物を飼育できる場所 ・ 車いすの子どもも使いやすい建物 ・ マック、スタバが欲しい

Aグループ



Bグループ



和地市長・ファシリテーターによるまとめ

【和地市長】

- さまざまなアイデアを出していただき、すべて実現できればよいと感じました。すぐに実現できるものや工夫すれば実現できるもの、実現が難しいもの、内容を変えたりすれば実現できるものなど、さまざまなものがあると思います。
- 皆さんは日常生活を豊かにしたいという思いが強いと感じました。
- 日常の豊かな場面が増えることで、東大和市での生活に満足し、豊かさを感じる方が増え、その場となる「みんなの学校」に大きな価値を感じていただけたと思います。

【ファシリテーター】

- 北部地区は、自然や歴史的な資源が多い一方、商業施設が少ないことが明確になりました。商業施設が少ないことは生活上の不便につながります。
- 中学生にとっては公園があればよいというものではなく、遊ぶ場所の選択肢が必要であることも分かりました。
- 両グループに共通して、カフェが欲しいという意見があり、北部地区の特徴だと感じました。
- 世代を超えた交流に関する意見が多く出た点も良かったと思います。

参加者の感想

- 東大和市の行ったことがない所など詳しく知ることができた
- 普段体験できない話ができて、とても勉強になりました、夢が広がって楽しかったです
- いろいろな意見が聞けて、興味深かったし楽しかった
- みんなの意見を聞けて大変良かったです、100点のワークショップ

